

「ユニットケア実施施設の見学に行ってきました」

地域密着型特別養護老人ホーム つくしの里の職員がユニットリーダー研修実施施設、特別養護老人ホーム くぬぎ苑に行きました。つくしの里は H24 年に開設して今年で 7 年を迎えました。これまでのユニットケア（個別ケア）実施に向けて、様々な取り組みを実施してきました。つくしの里での施設内勉強会の中で、職員から「ユニットケアを実践している施設の見学をさせてほしい、実際に目で観て、今の悩み等を相談したい」等の声も挙がり、ユニットリーダー以外の職員から、ユニットケア実践に向けての前向きな意見が嬉しく、施設長の承認も頂き、ユニットリーダー 2 名が実施研修で学ばせて頂いた「くぬぎ苑」をお願いをし、快く受け入れて下さいました。



くぬぎ苑は、入居者 70 名 ショートステイ 20 名、9 ユニットを見学させて頂きました。

まず、「ユニットの玄関」です。





どこのユニットも家の玄関のようになっており、入る際も、自ずと「お邪魔します」の言葉が出てきます。すると、入居者、職員の方々から「どうぞ、いらっしゃい」との温かい言葉をかけて頂き、笑顔で迎えて下さいました。



どのユニットもポストと傘立ては設置しているとの事で、まさに家の玄関に必要な不可欠な物です。

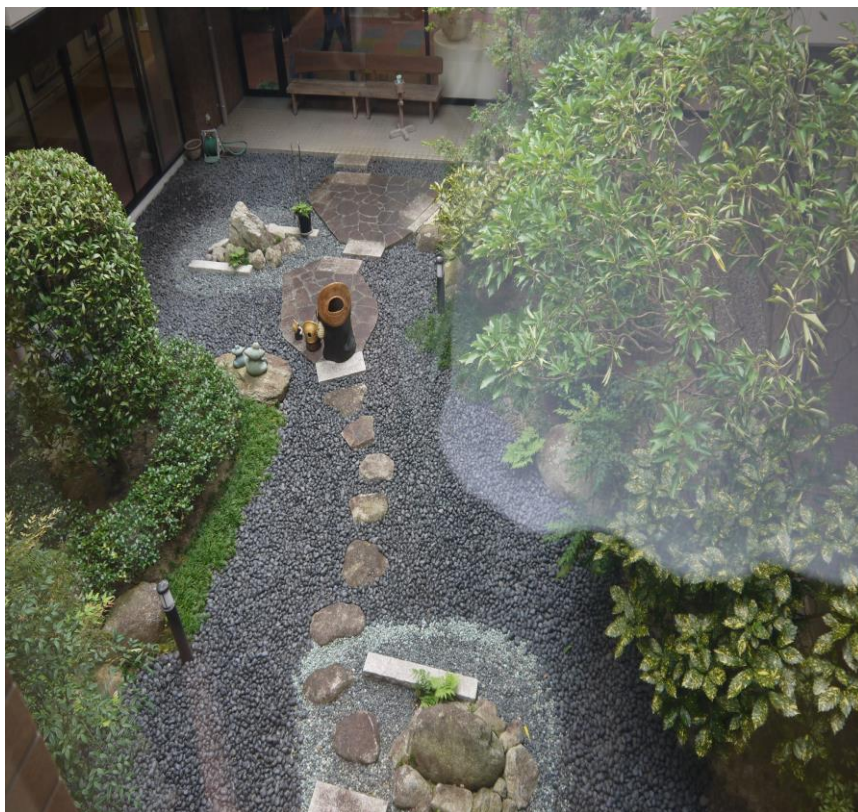
ユニットに入ると、入居者の方々が落ち着かれる空間（セミパブリックスペース）が作られており、昼の空間が落ち着き、心も安らぎます。



図書スペースもあり、読書をされる方は、この場所でゆっくりできます。



綺麗な庭を観て、落ち着かれる方もいらっしゃるとの事でした。



最後に意見交換として、見学時で気になったことや、今現在の個別ケアを実践していく上で悩んでいる事について、介護主任の川端様が分かりやすく説明して下さいました。





今回の施設見学を通し、個別ケアの実践していく為に、ユニットや施設全体でどうしていくのかが、職員の意識の中で芽生えてきました。次は、実践に繋げるように施設内でも、継続的に勉強会等を重ね、職員一丸となって頑張ります。

今回、このような貴重な時間を頂いた、くぬぎ苑の施設長はじめ皆様方へ大変感謝致します。今後とも、何卒宜しくお願い致します。